



旭丘小だより

練馬区立旭丘小学校
学校だより 1月号
平成27年1月8日発行
発行責任者：野田 豊

年頭にあたって

校長 野田 豊

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、大変お世話になりました。本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、今年の干支は「未」ひつじです。古来より、群れをなすひつじは、家族の安泰や人々がいつまでも平和に暮らすことのできる象徴とされてきたようです。穏やかで友好を好み親和的なひつじにあやかり、今年は学校と保護者、地域の方々との絆を一層深めていく1年としたいと考えております。皆様のご支援、ご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

* * *

今月の24日から30日の期間は学校給食週間です。日本の学校給食は、明治22年、山形県の私立小学校で、当時家が貧しくて弁当を持ってこられない子供たちのために、昼食におにぎりや焼き魚、漬け物などを出したことが始まりと言われていています。今では、日本全国でそれぞれの土地で収穫される特産品や農水産物を取り入れた献立をはじめ、和、洋、中の様々なメニューが提供されています。進歩したのは、献立の種類が増えたことだけではありません。栄養のバランスや味付け、そして何よりも食品の安全性や衛生面においても創意と工夫を重ね、日々細心の注意を払いながら、おいしくて安全な給食が作られています。

昨年末、本校ではPTA主催の給食試食会が開催されました。献立は、＜牛乳、ごはん、手作りがんもどき、ひき肉と春雨の炒め煮、さつまいもの味噌汁＞でした。参加された保護者の方の感想をご紹介します。

・家の味と比べると、学校の給食は薄味だと思いますが、食材の自然な味が活かされていてとてもおいしくいただきました。子供たちもとても楽しみにしている給食が、しっかりと安全に作られていることもわかり、親としても安心しました。

・スライドで実際の調理の様子を見せていただき、とてもよくわかりました。カミカミサラダ、あじさいゼリー、ABCスープ等、我が家でも話題に上がり盛り上がっていることもあります。いつもおいしく安全な給食をありがとうございます。

これらの感想からも、塩分を控え、出汁や素材の味を生かした調理方法を工夫していることや安全面に対する配慮について、理解を深めていただいたことがわかります。今後も、学校と家庭が「食育」について連携を強め、その充実を図っていきたいと考えています。

学校ホームページをご活用ください

「旭丘小学校 学校ホームページ」では、児童の活動の様子のほか、学校の沿革や過去の学校だより・保健だより・給食だよりなど、学校からの情報が掲載されています。今後も随時更新いたしますので、是非ご活用ください。右のQRコードからもアクセスできます。



PC スマートフォン用



携帯電話用